

近畿本部 情報工学部会 6月度例会の案内

◇日時：2024年6月8日（土）14時00分～17時00分

◇場所：〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町 1-9-15 近畿富山会館ビル2階

日本技術士会 近畿本部 大会議室

現地 定員 15名 / Web中継 定員 100名（ハイブリッド形式）

※現地参加の方はその旨、メールにてご一報ください。

◇会費：日本技術士会会員・準会員、協賛団体会員 500円）未入会者 1,000円、学生 無料

※支払：月例会参加後、会計より振込先口座をご連絡します。

◇申込みWeb：<https://jyouhou.ipej-knk.jp/wp/>（申込期限 6/7 まで）

※Web申し込みができない場合はメール info@jyouhou.ipej-knk.jp でも可能

<プログラム>

（Zoom ミーティングルームには 13:55 以降、入室可能となります）

1. 諸連絡 14:00～14:10

2. 講演1 14:10～15:25

講師： 柘一 憲生 氏（情報工学部門、電気電子部門）

テーマ：『プログラミング言語におけるリソース管理機構の変遷』

（概要）

ソフトウェアを長期連続稼働させるにはメモリを初めとするリソース管理が重要である。個々のプログラムにリソース管理処理を記述することはできるが、プログラムが大規模になればリソース管理は煩雑になる。リソース管理の煩わしさからプログラマを解放するために、プログラミング言語がリソース管理の機構をどのように提供してきたのか、メモリ管理を中心にその歴史を紹介する。あわせて、リソース管理の動向についても考察したい。



3. 講演2 15:35～16:50

講師： 小原 増雄 氏（情報工学）

テーマ：『PAD調査報告と使い方の提案』

（概要）

PAD（Problem Analysis Diagram）は、問題解決図と呼ばれるもので、ロジックをすっきりした形で可視化することができる図です。誰が描いても同じ結果になります。「ロジックが理解しやすい⇒ロジックを検証しやすい⇒品質が向上する」これがPADのメリットです。プログラミングの準備段階でロジックをPAD図に表すことで、プログラムと等価の図面をつくることができます。

講演では、PADをExcelで描くためのローカルルールの紹介、規格に載っていない使い方についての提言などを行います。



※月例会 終了後に懇親会も実施します。

ご参加希望は、以下アドレスまでご連絡ください。

◇問合せ先メールアドレス：info@jyouhou.ipej-knk.jp

7月の月例会は 第2週の 13日(土)を予定しています。